

令和5年度 児童発達支援事業 保護者等アンケート集計結果 事業所名：シュタイナーハウス・モモ

公開：令和6年4月 回答率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見→ 工夫している点・課題及び改善点
環境・ 体制 整備	①	子ども等の活動スペースが十分に確保されているか。	3				安全第一に十分なゆとりをもって活動できるよう配慮している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	3				規程に準じたスタッフ数を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	3				荷物入れや部屋やトイレについて、絵で表示したりする工夫をしている。踏み台をおくなどして高さへの配慮をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3				感染予防のためこまめな換気と消毒を行っている。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	3				各個人の支援ニーズや家族の要望に合わせた支援計画を作成している。
	⑥	児童発達支援計画には、本人に必要とされる支援内容が具体的に設定されているか。	3				支援課題と目標、具体的支援内容を記入し、日々の活動はそれを基準として企画している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	3				支援前後にはスタッフ間で確認を行い支援計画に沿った支援に努めている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3				その日の天候や利用児童の特性も鑑み、固定化しないように工夫を行っている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2			1	現在、保育所や認定こども園、幼稚園等とは交流する場を設けていないが、機会があれば交流をしていきたい。
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	3				利用開始時に口頭で説明を行って理解をうながしている。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3				弊事業所見学時や、アセスメントを通して作成した計画書は利用開始時に口頭で説明している。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3				現時点ではペアレントプログラムは行っていないが、研修を受け

						たスタッフがおり、家族支援の方法についての知識は得ている。ニーズに応じて家族支援も行っていく予定である。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	3			日々の連絡帳や送迎時などに活動の様子などを話す機会を持っている。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	3			定期的に保護者との面談を行っており、相談に対して適切な助言と支援を行っている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	2		1	年に数回（文化の日など）事業所の活動を公開し、保護者にも事業所で行う芸術体験（陶芸・染物など）をして、保護者同士の交流を図っている。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	3			申し入れや相談があった場合は迅速かつ適切に対応している。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	3			連絡手段や時間帯など配慮をして進めている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	3			ホームページで数か月ごとに活動報告を行い、1年ごとに報告書や著作の形で活動の理念と実践をお知らせしている。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	3			個人情報保護のための確認書を保護者に書いてもらい、それに基づき実践している。
緊急時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	2		1	各マニュアルを作成し、職員が手に取れる場所に置いている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	2		1	火災・不審者訓練に参加→昨年度は、地震・火事・不審者への対応訓練を1週間かけて行った。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	3			子どもの特性を配慮し、活動内容を考え、楽しみに通所できるように努めている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	3			6ヶ月に一度のモニタリングを行い、必要に応じた支援の見直しを行っている。支援について不明な点があれば随時相談にのり対

